『キャリア教育とは』

キャリア教育の定義については、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」とされ、その中のキャリア発達とは、「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」とされている。

かつては勤労観・職業観の育成のみに焦点が絞られがちになったキャリア教育であったが、小学校段階から発達段階に応じたキャリア教育の重要性が叫ばれている。

その背景とキャリア教育の必要性について考えてみたい。

1、キャリア教育が提唱された背景

20世紀後半におきた地球規模の情報技術革新に起因する社会経済・産業的環境の国際化、グローバル化がある。その影響は日本の産業・職業界に構造的変革をもたらしたことにとどまらず、我々の日常生活にも大きな影響を及ぼした。キャリア教育導入の背景を考える上では、このような社会環境の変化が、子どもの成育環境を変化させたと同時に子どもたちの将来にも多大な影響を与えたことを認識することが重要である。情報技術革新は、子どもたちの成長・発達までに及び、さらに教育の目標、教育環境にも大きな影響を与え始めている。

2、子どもたちをめぐる課題

子どもたちが育つ社会環境の変化に加え、産業・経済の構造的変化、雇用の多様化・流動化等は、子どもたち自らの将来のとらえ方にも大きな変化をもたらしている。子どもたちは、自分の将来を考えるのに役立つ理想とする大人のモデルが見付けにくく、自らの将来に向けて希望あふれる夢を描くことも容易ではなくなっている。

また、環境の変化は、子どもたちの心身の発達にも影響を与え始めている。例えば、身体的に早熟傾向にあるが、精神的・社会的場面の発達はそれに伴っておらず遅れがちであるなど、全人的発達がバランス良く促進されにくくなっている。具体的には、人間関係をうまく築くことができない、自分で意思決定できない、自己肯定感をもてない、将来に希望をもつことができない、といった子どもの増加などがこれまでも指摘されている。

3、キャリア教育に求められること

とどまることなく変化する社会の中で、子どもたちが希望をもって、自立的に自分の未来を切り拓いて生きていくためには、変化を恐れず、変化に対応していく力と態度を育てることが不可欠である。そのためには、日常の教育活動を通して、学ぶ面白さや学びへの挑戦の意味を子どもたちに体得させることが大切である。子どもたちが、未知の知識や体

験に関心をもち、仲間と協力して学ぶことの楽しさを通して、未経験の体験に挑戦する勇氣とその価値を体得することで、生涯にわたって学び続ける意欲を維持する基盤をつくることができる。また、多くの学校で実践されている自然体験や社会体験等の体験活動は、他者の存在の意義を認識し、社会への関心を高めたり社会との関係を学んだりする機会となり、将来の社会人としての基盤づくりともなる。さらに、子どもたちが将来自立した社会人となるための基盤をつくるためには、学校の努力だけではなく、子どもたちにかかわる家庭・地域が学校と連携して、同じ目標に向かう協力体制を築くことが不可欠である。

今、子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくことができるようにする教育が強く求められている。

キャリア教育を充実させ、先行き不透明な時代を力強く生き抜いていくことができる子どもたちを育てていきたいものです。